



### 病院における「委員会」の役割と重要性



副院長 兼 業務改善委員会委員長  
児玉 眞由美

2019年12月に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が発生して以来、4度目の冬がまもなくやってきます。新型コロナウイルス感染症の影響は当院でも免れず、患者様やご家族様には大変ご心配やご不便、ご迷惑をおかけいたしました。職員においても、長期にわたる行動制限や業務負担の増加のほか、さまざまなストレスの中での勤務が続くことになりました。業務だけでなく、親睦行事や休憩時間の飲食時の会話も禁止となり、職員同士の繋がりが希薄になっていたところに、やって来たコロナ第7波の大波。人員が足りない所には他部署が交代で応援に入り、病院長のもと、「院内感染対策委員会」を中心に病院全体で知恵を出し合い、協力し合い、まさに一丸とならなければ、この波を乗り切ることができなかったかもしれません。

「withコロナ」となり行動制限も緩和され、院内も落ち着きを取り戻し、「院内感染対策委員会」以外休止となっていた委員会活動も再開されました。

そこで、この機会に病院における「委員会」の役割について考えてみましょう。

#### 病院には、各部署での業務以外に「委員会」という業務があります

外から見える「病院業務」は、医師が診察や治療を、看護師が看護を、医事課が受付や保険請求回りの仕事を...というように部署ごとに分かれて仕事をするイメージかもしれませんが。

しかしそれは一面であり、それ以外に病院内で重要な役割を果たす組織体として、各部署から選抜されたメンバーからなる「委員会」が存在します。

#### 役割:委員会は何をしているの？

おおまかに説明するなら、日常業務では各部署が縦割りで動いているのに対し、委員会は部署横断的にメンバーが選抜され、テーマごとに討議をして院内全体に関わる業務の方針決定を行う役割を担っています。通常は月に1回程度の会議が開催されます。

委員会は「病院のオフィシャルな会議体」という位置付けであり、毎月ほぼ決まった日時場所で、多職種が集まりオープンな話し合いをすることが出来ます。委員会で決まった運用ルールは、各会議等を通じて院内全体へ発信されていきます。定期的に情報共有や院内のルール決めをすることが出来る貴重な機会です。

また、必要時には今回の「院内感染対策委員会」のように専門チームとして院内を統括し、時々刻々と変化する状況に対応すべく活動する場合もあります。

(次ページへ続く)

## 理 念

○私たちは、自分が受けたい医療・看護・介護を提供します。

## 基 本 方 針

- ・患者さまの権利と尊厳を大切に、心のこもった医療・看護・介護を提供します。
- ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します。
- ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います。
- ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します。
- ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します。

宮崎医療センター病院

# 四季

題字 理事長自筆

秋号

2022年 10月21日発行

MEDICAL CORP.  
**JOJINKAI**  
Hospital & Welfare Institute

宮崎医療センター病院  
宮崎市高松町2-16  
TEL:0985-26-2800  
FAX:0985-27-6811



## ★栄養科行事食紹介★

### ★7月★

七夕には、入院中の患者様にそうめんと七夕ゼリーを提供しました。七夕ゼリーは小豆・牛乳・サイダーの3種類を順番に流し入れ、3層のゼリーにしました。また、緩和ケア病棟の七夕イベントには、天の川に見立てた3層のゼリーを提供し、フルーツの盛り合わせは星で型抜きをしました。土用丑の日には、鰻を提供しました。



七夕に入院患者様へ提供したそうめんとゼリーです。



ゼリーを横から見ると3層になっています。



緩和ケア病棟のレクレーションにて提供したゼリーです。



星をかたどった七夕のフルーツ盛り合わせです。



土用丑の日に入院患者様へ提供した鰻です。季節や行事にあった食事を提供できるよう工夫しています。



### ★9月★

緩和病棟のお月見のイベントでは、四角の羊羹の中を丸く型抜き、芋のペーストをいれて月に見立てました。スイートポテトにりんごの耳をつけてウサギも作りました。

栄養科では季節・行事に合わせた食事を提供しています。毎月の行事に合わせて、食欲のない方や飲み込みが難しい方にも食べていただけるように、工夫しています。今後も患者様に喜んでいただけるような食事を提供できるよう、患者様に寄り添い、取り組んでいきます。



### 患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
- ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
- ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります。
- ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります。

### 【患者の皆様へのお願い】

良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療提供者に対し、ご自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供して下さいようお願い致します。

宮崎医療センター病院

### ★緩和ケア病棟★

緩和ケア病棟では通常、毎月1回レクリエーションを行っています。新型コロナウイルス感染症の影響によりできることが限られる中、患者様の気分転換になるようにとアイデアを練っています。私たちはがんの終末期患者様とご家族に対し、多職種協働で質の高い緩和ケアを目指して行きます。

#### ★7月 セタ★

写真は7月に行われたレクリエーションの様子です。8月と9月はレクリエーションが行えませんでした。10月以降は再開する予定です。



セタには笹が飾られ、患者様と職員の願い事が書かれた短冊が下げられました。



緩和ケア病棟担当の高橋医師による歌唱です。井上陽水に似せた素敵な歌声でした。



職員によるハンドベルの演奏です。この日のためにたくさん練習したそうです。



外来クラークによるピアノの演奏です。以前に寄贈いただいたピアノを活用しております。



栄養科で準備した食事の様子です。ゼリーとフルーツをおいしくいただきました。



行事後の集合写真です。毎度おなじみとなったひよっこもいます。

### ★通所リハビリ作品介绍★

通所リハビリでは、月ごとに花紙等で利用者様と一緒に作品を作っています。写真は9月～10月の作品です。作品は通所リハビリ室内に飾られています。



通所リハビリテーション事業所では、要支援1から 要介護5の認定を受けられた方々が利用しています。興味のある方は近くの地域包括支援センター、または担当ケアマネージャーにご相談ください。

### 重要性:委員会活動ってちょっと面倒くさくない?

病院にある各委員会は「医療安全管理」「院内感染対策」「労働安全衛生」「業務改善」等々、各領域の専門分野を取り扱っています。

これらは病院運営においても重要な分野ばかりですので、委員会の参加者は、各部署の立場と専門性をもとに活発に意見交換し、合理的な意思決定となるよう、いわゆる、「良い会議」を繰り広げる必要があります。

臨床や患者サービスがメインになる病院職員にとって、忙しい日常業務に割り込んでくる「委員会」は面倒くさい仕事・会議かもしれません。

しかし、病院運営において委員会はなくてはならない存在で、組織活性化の要(かなめ)となる会議体です。各委員会を機能させて、合理的・生産的な意思決定が出来るようになれば、当院はさらに良くなるはずですよ。

### 業務改善委員会の活動をもっと知ってほしい!

業務改善委員会の活動目的は、「当院における業務および医療サービスの質改善に必要な事項を定め、質改善活動を推進すること」です。取り扱う業務は(図1)のとおりです。

図1. 業務改善委員会の所掌業務

- (1) 業務の質改善
  - ①業務の効率化・迅速化に関すること
  - ②労働環境の改善に関すること
  - ③経費削減に関すること
- (2) 医療サービスの質改善
  - ①医療・看護・介護の標準化、安全性に関すること
  - ②患者サービス・接遇に関すること
  - ③環境整備・美化に関すること
  - ④施設設備・整備に関すること
- (3) 質改善推進活動
  - ①改善を要する事項の把握に関すること
  - ②職員への通知・啓発に関すること
  - ③病院への要望・要請に関すること
  - ④各種医療チーム・委員会との連携・調整に関すること

図2. 委員会活動の進め方



### 業務改善委員会では(図2)のような「活動の進め方」を目指しています

まず、問題点の拾い上げとしての活動が、「院内合同パトロール」、「意見箱への投書や口頭での意見収集」、「職員意識調査」および、「患者満足度調査」です。

その中から病院としてテコ入れを図るべき事象を抽出し、討議を行います。委員会で決まった運用ルールは、院内の各会議や「あおぞら」等を通じて院内全体へ発信されていきます。担当する部署や委員会がある場合には、各々で対応していただくよう委員会として働きかけを行っています。

### まもなく職員意識調査の時期がやってきます!

11月は2022年度の職員意識調査の時期となります。先述のとおり、現状の把握や問題点の拾い上げ、これまで行ってきた改善策の効果確認や評価、今後の活動計画のために非常に重要な調査となります。

なお、これまでの職員意識調査結果に対する検討結果は、「質問項目」の回答結果だけでなく、ご記入いただいた「自由記載」への対応を含めて「あおぞら」へ掲載されています。

2021年度の調査結果に関しては、コロナ禍による長期にわたる委員会活動休止のため、ご報告が遅れ申し訳ありません。今年度は「上司や同僚への相談しやすさ」「部署内の課題や目標の共通認識」「部署間の連携・協力」に特に重点を置いて検討いたしました。

今後も業務改善委員会で対処すべきものは対応を検討・実行し、他に担当部署があるものは担当部署で対応を検討していただくよう、委員会として働きかけを行っていきます。

職員のみならずご意見が業務の質・医療の質改善へつながります。今後とも引き続き職員意識調査へのご協力および、ご意見・ご提案をよろしくお願いいたします。